

記載例

工事件名：〇〇ビル解体工事に伴うアスベスト調査 ①	依頼検体数 ②	検体
定量分析（何%含有しているかについての分析）の有無 ③	有	無
報告書必要部数 ④	部	
報告書宛名： ⑤	請求書宛名： ⑥	

建物、配管設備、機器等の名称及び用途	名称	*****ビル ⑦
	用途	雑居ビル ⑧
施工年及び建築物への施工などを採用した年		昭和〇〇年〇〇月（竣工年） ⑨
採取箇所等の指示（判断）者の所属、氏名、資格		九電産業株 九産 太郎 特定建築物石綿含有建材調査者 証明書番号 ***** 第*****号 ⑩
採取者氏名		九電産業株式会社 九産 太郎 ⑪

採取年月日	〇〇年〇〇月〇〇日	試料No.	1
試料の概要 (形状又は材質、試料の大きさ)	形状又は材質	形状：不定形体 ⑫	材質：仕上塗材 ⑬
	試料の大きさ	約10cm ³ ×3ヶ所（密閉ビニール袋入） ⑭	
	採取方法	スクレーパー及び金槌によりで3ヶ所から採取 ⑮	
採取部位	外壁（北側・南側・西側） ⑯		

記載時の注意点

- ① 工事件名を記載（報告書の表紙部分にこの名称が入ります。）
- ② 今回分析をご依頼する検体数（同一部材を3箇所採取したものは、1検体としてカウントします。）
- ③ 定性分析の結果、石綿含有していた場合の定量分析の有無 どちらかに○を記入
- ④ 当社より提出する報告書の部数
- ⑤ 報告書の宛名（ご依頼頂いた会社様の名前）※別会社の宛名を希望する場合は、その名前を記載
※但し、報告書内の証明書に当たる部分の宛名には、ご依頼を頂いた会社名が記入されます。
- ⑥ 請求書の宛名（ご依頼頂いた会社様の名前）
- ⑦ 建物の名称を記入（ここには採取箇所は記載しないようお願いいたします。）
- ⑧ 公共施設、雑居ビル、プラント施設、学校などと表記
- ⑨ その建物の竣工年等を記載（分からない場合は、空白若しくは―でも可）
- ⑩ 採取箇所を指定した者の氏名（石綿調査関連の資格「建築物石綿含有建材調査者」などの資格を所有する者が望ましい。その際は証明書番号も記載する。）
- ⑪ 採取者の所属会社及び、採取者の氏名を記入

・以下は、同一材質（3ヶ所から採取した場合）で採取した物を1検体として、記入する。

- ⑫ 石膏ボード、スレート、ケイ酸カルシウム板第1種等の成型板・・・「板状」と記載
仕上塗材、岩綿吹付、ひる石吹付、塗料等・・・「不定形体」と記載
- ⑬ 採取した部材の材質を記載
- ⑭ 石膏ボード、スレート、ケイ酸カルシウム板第1種などの成型板・・・約10cm×10cm×3箇所
仕上塗材、岩綿吹付、ひる石吹付、塗料・・・約10cm³×3箇所
（施工範囲が狭い等の理由により、3ヶ所の採取が難しい場合は、別途その旨を記載）
- ⑮ 採取に使用した工具等を記載、また何箇所から採取したのかについても記載
- ⑯ 採取を実施した部屋、部位（床・巾木・壁・天井・外壁等）を記載